

総合戦略主要施策評価調書

基本目標3：安心して暮らせる生活環境を整え、町民の生活を支える

「k P I 進捗状況」 A：順調に進んでいる B：概ね進んでいる。 C：進捗が遅れている。 D：今後、データが得られるため、現時点では評価困難（データが得られ次第評価する）

No	主な施策	具体的取り組み	事業内容	評価指標	H27実績	KPI進捗状況	所管課係
1	①高齢者が安心して住み続けられる環境の整備	地域包括支援システムの構築	在宅医療・介護連携、認知症施策の推進、地域ケア会議の推進、生活支援体制整備等を進める。	要介護認定率：29%以下（H31）	22.4%	B	保健福祉課介護保険係・在宅支援係
2	〃	介護老人福祉施設の整備	要介護状態になっても安心して住み続けられるよう、要介護者の増加に対応した介護老人福祉施設を整備する。	整備床数：5年間で49床	20床	A	保健福祉課福祉係
3	〃	介護予防事業・見守り体制の構築	介護予防・日常生活支援総合事業への移行、生活支援コーディネーターの配置により、ニーズの把握、資源開発、マッチングを行う。	要介護認定率：29%以下（H31）	22.4%	B	保健福祉課介護保険係・在宅支援係
4	②小さな拠点（多世代交流・多機能型福祉拠点）の整備	地域交流スペース、避難所整備	今後整備する福祉施設に世代や機能を限定せず、小地域の実態にあった地域交流、地域支え合いの拠点となる多世代交流・多機能型福祉拠点を整備する。	整備件数：5年間で3カ所	関係機関との協議実施	B	保健福祉課福祉係
5	③障がい者が安心して暮らせる環境の整備	障がい者グループホームの整備	障がい者が将来にわたり安心して住み続けられるよう、知的・精神向けの障がい者グループホームを設置する。	整備件数：5年間で8戸	関係者等との協議実施	C	保健福祉課福祉係
6	〃	障がい者就労支援（再掲）	障がいがあっても本人の希望・適正に応じた就労ができるよう、障がい者就労を推進する。	就労支援事業所開設：5年間で1件		A	保健福祉課福祉係
7	④定住につながる住環境の整備	持ち家の促進、空き家活用、定住住宅整備事業	持ち家住宅の建築や空き家の活用のための改修に対する奨励金等の支給、雇用を促進するための住宅建築に対する助成を行う。	住宅建築、空き家活用数：年間30戸	62戸	A	地域戦略室地域戦略係
8	〃	子育て支援住宅の整備	子育て世代が安心して暮らせる住宅を整備し、住環境の面から子育てを支援する。	住宅整備数：5年間で6戸		D	施設課町営住宅係

